

1 文（文章）で解答する設問の答案については、次のA項の加点要素の合計から次のB項・C項の減点要素の合計を引いた得点をその設問の得点とします。ただし最低点は0点としマイナスの得点はつけません。

A

a 以下の採点基準では、模範解答をいくつかの要素に分割し加点要素とします。答案中にその加点要素に相当する部分があれば、その加点要素に配点された得点を与えます。  
b ある加点要素は、その加点要素に配点された得点か0点で採点することを原則とします。たとえば5点配点された加点要素であれば5点か0点で採点することを原則とします。ただし、その加点要素中の部分点を認める場合もあります。その場合それぞれの採点基準の中に明記されています。

c ある要素に加点するかが、他の要素と無関係に決まる場合と、他の要素との関係で決まる場合があります。前者の場合は、その要素を単独採点（独立採点）すると言いその旨必ず明記されています。後者の場合は、他の要素との関係について以下の採点基準で具体的に指示されています。

d 解答通りという条件がある場合はいかなる部分点も認めません。

B

a 答案中に大きな誤読と判定される内容（語句）などがある場合は、その内容（語句）を減点要素として示されている場合もあります。

b 加点要素でも減点要素でもない部分もありえます。その部分は加点も減点もしません。

C

次に該当するものは、答案の形式上の不備として、一箇所につき1点の減点要素とします。

a 誤字。漢字などの文字の明らかな誤りは誤字とします。

b 脱字。

c 文末の句点の脱落。

\*字数指定のない場合、句点の脱落は誤字とし1点の減点とします。

d その他不適切と判断せざるをえない箇所。

e 不適切な文末処理。設問の問い方に対応していない形で答案の文末を結んでいない場合は、適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備による減点要素とします。

たとえば「…とはどういうことか？」という問いに体言で結んでいないものなどは適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備とします。

また、理由が問われているのに、「から」「ので」などで結んでいないものなども適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備と見ます。

\*ただし、「ことである」などの表現も「こと」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また、「からである。」などの表現も「から」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。

また文末の表現を問わない場合もありますが、その場合はその都度明記されています。

2 日本語の表現として不適切なものは程度に応じて減点します。

3 次の各項に該当するものは、部分点の要素があっても、その設問の得点を0点とします。

a 答案が解答欄の欄外にはみ出しているもの。

b 一行の解答欄に二行以上書いた場合もその設問の得点を0点とします。

c 字数指定のある設問で、字数をオーバーしたものの。

d 答案の文章が最後まで完結していないもの。

4 古文あるいは漢文の訳を記述する設問の場合も以上に準じますが、文末の句点や文末の処理あるいは答案の完結にこだわらなくともよい場合はその都度明記されています。

## ■採点の原則

- ① 全ての答案について各要素単独採点とするが、答案が全く日本語の文(章)の体をなしていないと判断される場合は、要素の有無に関係なく0点とする。
- ② 文脈のねじれがある、また主述の対応に問題があると判断される場合は、要素ごとに加点した上で、全体から2点減点する。
- ③ 漢字の誤り、送り仮名の誤り、句点の抜けについては、一つごとに1点減点する。

## 問一

## ■形式上の不備

- ・文末表現は要素J参照

基準 配点16点

## ■模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A 真実和解委員会は、客観的事実に依拠し法に基づく責任者処罰で正義回復を図るとい  
B 西欧市民社会のや  
C り方ではなく、対話を通して住民の主観的経験から真実を創造していくというアフリカの伝統的なやり方  
D  
E  
F  
G 社会の和解を達成しようとしたので、部族間の分断を乗り越え、被害者と加害者が共に癒される状況が生み  
H  
I  
出されたから。

## ■採点方法…各要素単独採点

■字数…百五十文字以内 七十四字以下のものは全体不可(0点)

■要素A 「真実和解委員会は」(主語・主題の提示)…1点  
・真実和解委員会方式でも可

■要素B 「客観的事実に依拠し法に基づく責任者処罰で」…3点  
・「責任者処罰」を欠く場合は2点  
・「法に基づく」のみなら1点

■要素C 「正義回復を図るとい」…2点

■要素D 「西欧市民社会のやり方ではなく」…1点

■要素E 「対話を通して住民の主観的経験から真実を創造していく」…3点  
・「住民の」は無くても可  
・「主観的経験」が無ければ2点  
・「真実の創造」に対応する内容が無ければ1点

■要素F 「アフリカの伝統的なやり方で」…1点

■要素G 「社会の和解を達成しようとした」…2点  
・「社会の」は無くても可

■要素H 「部族間の分断を乗り越え」…1点  
・「部族間」は「人びと」「住民」などでも可。

■要素I 「被害者と加害者が共に癒される状況が産み出された」…2点  
・「被害者と加害者」は「共同体」でも可  
・「癒される」があれば1点

■要素J 文末が「から・ので・ため」また「く」という理由」など、理由説明の形になっていない場合は、  
答案全体から1点減点

問二 a・d 各4点

問三

■形式上の不備

- ・文末表現は要素F参照

基準 配点1.2点

■模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A 搾取・支配するにせよ援助・救援するにせよ、アフリカ社会とアフリカ人を常に世界システムの最周縁部に位置づけ、介入の対象として客体化し、その主体性を顧慮しないこと。  
D E B C

■採点方法…各要素単独採点

■字数…八十字以内 三十九字以下のものは全体不可(0点)

■要素A 「搾取・支配するにせよ援助・救援するにせよ」…3点

・「搾取・支配」「援助・救援」はいずれか一つあればよい。また「抑圧」と「助成」など対義的な二項が認められるなら許容。

- ・対義的な説明語のいずれか一方しかなければ1点とする。

■要素B 「アフリカ社会とアフリカ人を」…2点

- ・単に「アフリカ」としている場合は1点とする。

■要素C 「世界システムの最周縁部に位置づけ」…4点

- ・「世界システム」の「システム」がなければ2点

■要素D 「介入の対象として客体化し」…2点

- ・「介入の対象」・「客体化」それぞれについて2点加点が目安

■要素E 「その主体性を顧慮しない」…1点

- ・具体的な説明となっている場合にも1点与えてよい

■要素F 設問の問い方からして、文末は「〜こと」「〜もの」「〜帰結(する)」「〜(と)なる」などが予想される。柔軟に採点する。「から・ので」など理由説明のような文末になっている場合は1点減点する。

- 形式上の不備
- ・文末表現は要素E参照

基準 配点4点

- 模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A

アフリカ社会が生成発展変容させてきた

B

知恵と制度を現代世界と密接にリンクさせ、

C

この数百年世界を支

D

配してきた世界標準のシステムや価値観を診断し、人類の未来にとってオルタナティブな枠組みを模索して

い

くこと。

- 採点方法…各要素単独採点

■字数…百字以内 四十九字以下のものは全体不可(0点)

- 要素A 「アフリカ社会が生成発展変容させてきた」…3点

- ・「アフリカ社会」は「アフリカ」でも可
- ・「生成してきた」「発展させてきた」「育んできた」でも可
- ・Aに対応する箇所が単に「アフリカの」となっている場合は1点

- 要素B 「知恵と制度を現代世界と密接にリンクさせ」…4点

- ・「密接に」は無くても可
- ・「知恵と制度」という語のみが示されている場合は2点
- ・曖昧であるが、説明しようとする志向が見て取れれば2点

- 要素C 「この数百年世界を支配してきたシステムや価値観を診断し」…4点

- ・「この数百年」は「これまで・今まで」なども可。同意の表現がなければ1点減点
- ・「診断し」は「見直し」「考え直し」「再考し」「見つける」なども可。同意の表現がなければ1点減点

- ・「システム」「価値観」のいずれかが欠けている場合は1点減点

- 要素D 「人類の未来にとってオルタナティブな枠組みを模索していく」…3点

- ・「人類の未来にとって」がなければ1点減点
- ・「オルタナティブ」は翻訳語に置きかえていても可

- 要素E 文末が「〜(という)こと(を求めている)」と同等の形になっていなければ1点減点

■採点の原則

- ① 全ての答案について各要素単独採点とするが、答案が全く日本語の文(章)の体をなしていないと判断される場合は、0点とする。
- ② 文脈のねじれがある、また主述の対応に問題があると判断される場合は、全体から2点減点する。
- ③ 漢字の誤り、送り仮名の誤りについては、一つごとに1点減点する。

問一 a || 築      b || 維持      c || 陳列      d || 失墜      各2点

問二

■形式上の不備

- ・文末表現は要素G参照

基準 配点1点

■模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A 実在する現実の物体を模倣し縮小して      B 人工的に産み出される      C ミニアチュールが、      D 外部の現実世界から完全  
 に遮断され隔離されることにより獲得する      E 現実をはるかに凌駕し、      F 全宇宙を体現するかのような秩序と  
 いうこと。

■採点方法…各要素単独採点

■字数…百字以内 四十九字以下のもは全体不可(0点)

■要素A「実在する現実の物体を模倣し縮小して」…3点

- ・「実在する原物」は「実物」「実在物」「現物」など広く許容してよい。
- ・「模倣」は「メトニミー(換喩)的操作」でも可
- ・「縮小」がなければ1点

■要素B「人工的に産み出される」…2点

■要素C「ミニアチュールが」…1点

■要素D「外部の現実世界から完全に遮断され隔離されるとによって獲得する」…3点

- ・「外部の」「完全に」はなくても可
- ・「遮断」「隔離」はいずれか一つ、類義の表現があれば可

■要素E「現実をはるかに凌駕し」…2点

- ・「凌駕」は「超越」など類義の表現があれば可
- ・「はるかに」はなくても可

■要素F「全宇宙を体現するような秩序」…3点

- ・ともかく「秩序」という語が使われていれば2点
- ・「全宇宙を体現する」があつて「秩序」がなければ1点

■要素G 文末は「く(という)」こと・秩序・観念」という形が原則。何らかの「観念」を説明した答案の文末形式になっていれば可。それ以外は1点減点。

- 形式上の不備
- ・文末表現は要素E参照

基準 配点 1 2点

- 模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A | 切れ目なく流れる時間の中で展開される | B | 現実世界の行為や出来事のある特定の瞬間を切り取り | C | ミニアチュ  
ールとしてオブジェ化し、 | D | それに時間を超越した価値を付与すること。

- 採点方法…各要素単独採点
- 字数…八十字以内 三十九字以下のものは全体不可(0点)

- 要素A「切れ目なく流れる時間の中で展開される」…2点
- ・「流れる時間」「時間の流れ」という表現があれば可

- 要素B「現実世界の行為や出来事のある特定の瞬間を切り取り」…3点
- ・「一瞬を切り取り」と同意の説明があれば2点
- ・「切り取り」がなく「特定の瞬間」だけ示されている場合は1点

- 要素C「ミニアチュールとしてオブジェ化し」…3点
- ・「ミニアチュール」がなければ2点 但し、答案中のどこかにあれば可

- 要素D「それに時間を超越した価値を付与する」…4点
- ・ほぼ同意なら可

- 要素E 原則として「　(という)こと」という形になっていなければ1点減点



- 形式上の不備
- ・文末表現は要素G参照

基準 配点 6点  
1 6点

- 模範解答例 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A 刻々と変化し続ける現実世界の時間的秩序を拒否し、歴史的な時間の進行を超越したところに存在する、地  
C 上にはもはやありえない 異次元の空間である無時間的なユートピアへの ノスタルジーの感情に駆り立てら  
D れつつ、すでに喪われた世界の全体性を希求すること。  
E F

- 採点方法…各要素単独採点

- 字数…百二十字以内 五十九字以下のものは全体不可(0点)

- 要素A 「刻々と変化し続ける現実世界の時間的秩序を拒否し」…3点
  - ・「刻々と変化し続ける」はなくても可

- 要素B 「歴史的な時間の進行を超越したところに存在する」…3点

- 要素C 「地上にはもはやありえない」…2点
  - ・「現実とは異質な」など可

- 要素D 「異次元の空間である無時間的なユートピアへの」…2点
  - ・「無時間的(な)世界」とほぼ同義の表現があれば可

- 要素E 「ノスタルジー」の感情に駆り立てられ(つつ)「…2点
  - ・「ノスタルジー」という語があれば可

- 要素F 「すでに喪われた世界の全体性を希求する」…4点
  - ・「すでに」はなくても可
  - ・「喪われた」がなければ3点

- 要素G 原則として「〜(という)こと」という形になっていなければ1点減点

目 (古文『讃岐典侍日記』) 採点基準

※ 50点満点

問一 (a) 傍線部を現代語訳しなさい。

基準 配点 2点

〔傍線部〕 AーおくれBーまゐらせて、

〔模範解答〕 Aー先立たれBー申し上げて、

採点方法 要素Aは単独採点可。要素Bは「条件」に従って下さい。  
字数 指定なし。

解答形式 句読点の有無や位置については不問。

〔ポイント〕

要素A【1点】 おくれ ↓ 先立たれ

※「死に遅れ・先に死なれ」でもよしとする。「先に」がない「死なれ」は【0点】。

※単なる「遅れ」は【0点】。

要素B【1点】 まゐらせて ↓ 申し上げて、

※「条件」 Aが【0点】の場合は得点できない。ただし、誤字等の減点で【0点】になっている場合は得点できる。

※「申し上げて」以外は、「て」がない「申し上げる」も含めて【0点】(Bの要素での得点なし)。

問一 (b) 傍線部を現代語訳しなさい。ただし、文脈に沿うように、主語を補って訳すこと。

基準 配点 3点

〔傍線部〕 (Aー) Bー具してCー参りて、

〔模範解答〕 Aー私もBー一緒にCー参上して、

採点方法 要素B・Cは単独採点可。要素Aは「条件」に従って下さい。

字数 指定なし。

解答形式 句読点の有無や位置については不問。

〔ポイント〕

要素A【1点】(主語補い) ↓ 私も

※「条件」 Bが【0点】の場合は得点できない。ただし、誤字等の減点で【0点】になっている場合は得点できる。

※「私は」でもよしとする。

要素B【1点】具して ↓ 一緒に

※「共に・ついて」でもよい。

※「姉(三位殿)と(に)」の有無は不問。

※「連れて・持って・携えて・伴って」等は【0点】。

要素C【1点】参りて ↓ 参上して

※単独で得点できる。

※「うかがって」でもよしとする。

※謙譲表現になっていない「行って」など、また、「て」がない「参る」などは【0点】。

問一 (c) 傍線部を現代語訳しなさい。ただし、文脈に沿うように、主語を補って訳すこと。

基準 配点 3点

〔傍線部〕 (A一) B2さぶらはる。

〔模範解答〕 A一三位殿はB2そばにお控えなさる。

採点方法 基要素Bは単独採点可。要素Aは「条件」に従って下さい。  
字数 指定なし。

解答形式 句読点の有無や位置については不問。

〔ポイント〕

要素A【1点】(主語補い) ↓ 三位殿は

※「条件」 Bが【0点】の場合は得点できない。ただし、誤字等の減点で【0点】になっている場合は得点できる。

※「姉は」でもよしとする。

要素B【2点】さぶらはる ↓ そばにお控えなさる

※「そばに・宮(中宮・篤子)に・宮(中宮・篤子)のおそば(の御前)に」の有無は不問。

※「控え」、もしくは「仕え・伺候」の意があれば【1点】。

(これは謙譲語だが「控え・仕え」の意があれば謙譲表現になっていなくてもよしとする。)

※右の【1点】が得点できている上で、尊敬表現(くなさる・おくになる・くっていらっしゃる)になっていれば、さらに【1点】。

問一 (d) 傍線部を現代語訳しなさい。ただし、文脈に沿うように、主語を補って訳すこと。

基準 配点 3点

〔傍線部〕 (A1) B2おほせられもはてず、

〔模範解答〕 A1中宮様はB2言い終えなさることもできず、

採点方法 要素Bは単独採点可。要素Aは「条件」に従って下さい。  
字数 指定なし。

解答形式 句読点の有無や位置については不問。

〔ポイント〕

要素A【1点】(主語補い) ↓ 中宮様は

※「条件」 Bが【0点】の場合は得点できない。ただし、誤字等の減点で【0点】になっている場合は得点できる。

※「宮は・中宮は・篤子は」等でもよしとする。

要素B【2点】おほせられもはてず ↓ 言い終えなさることもできず

※「できず」の意の有無は不問。

※「言い終えず」の意があれば【1点】。

「言い終わらず・言いきらず・言いきることもできず・言い終えもせず・言い終えもしないうちに」等でもよい。

「終える・終わる・しきる」の意がない「言わない・言うことができない」等は【0点】。

※右の【1点】を得点している上で、尊敬の意(おっしゃる・くなさる・おくなさる)があれば、さらに【1点】。

問二 和歌(A)を、どういうことに対して「ものは思はざりけれ」であるのかわかるように、現代語訳しなさい。

基準 配点 7点

「該当和歌」 A 2 いにしへに色もかはらず B 1 咲きにけり C 2 花こそものは思はざりけれ (D 2)

「模範解答」 A 2 (桜の花は) 昔と美しさも変わらず B 1 咲いたことだなあ。 C 2 花は D 2 後三条院が亡くなったことを (C) 悲しみ思い悩むこともないのだなあ。

採点方法 要素A・B・Cは単独採点可。要素Dは「条件」に従って下さい。  
字数 指定なし。

解答形式 句読点の有無や位置については不問。

「ポイント」

要素A【2点】 いにしへに色もかはらず ↓ 昔と美しさも変わらず

※冒頭の「桜の花は・花は」の有無は不問。

※「昔と変わらず」の意があれば【1点】。

※「美しさ(美しい色)も変わらず」の意があれば【1点】。「色も変わらず」のままは【0点】。

要素B【1点】 咲きにけり ↓ 咲いたことだなあ。

※「咲く」+完了「うた・うしてしまった」+詠嘆「うなあ・うことよ・うよ」等で【1点】。

要素C【2点】 花こそものは思はざりけれ ↓ 花は う 悲しみ思い悩むこともないのだなあ。

※「花(桜の花)は悩まないのだなあ」の意があれば【2点】。

「悩む」は「物思いにふける・物思いに沈む・悲しむ・嘆く・苦しい思いをする」等でもよい。

※「悩む」が「思い出す」になっている場合は、マイナス【1点】。

※「花(桜の花)は」がない場合は、マイナス【1点】。Aの主体として冒頭に書かれていてもよい。

※詠嘆「うなあ・うことよ・うよ」になっていない場合は、マイナス【1点】。

※マイナスが多くても、最低【0点】までとする。

要素D【2点】(補い) ↓ 後三条院が亡くなったことを

※「条件」 Cが【0点】の場合は得点できない。ただし、誤字等の減点で【0点】になっている場合は得点できる。

※Cの「悩む」が「どういうことに対して」かについて、

・「後三条院(後三条上皇・後三条天皇)」が明らかになっていれば【1点】。「堀河天皇」は【0点】。

・「死(亡くなったこと)」が明らかになっていれば【1点】。(右の人物が誤っていたり、書いてなくても得点できる)

問三 和歌(B)を、「かげ」「雲のうへ」の内容がわかるように、現代語訳しなさい。

基準 配点 7点

「該当和歌」 A3 かげだにもとまらざりける B2 雲のうへを C2 玉のうてなとたれかいひけん

「模範解答」 A3 天皇の面影さえも留まらなかった B2 (この) 御所を、C2 一体誰が御所と言ったのだろうか、天皇のいない今はとてもそうとは思えない。

採点方法 各要素単独採点。

字数 指定なし。

解答形式 句読点の有無や位置については不問。

「ポイント」

要素A【3点】かげだにもとまらざりける ↓ 天皇の面影さえも留まらなかった

※「天皇」は「帝・一条天皇・一条帝」でもよい。(天皇名が違っている場合は、要素Aの最後の※に従って下さい)

※「面影」は「姿」でもよい。「影・かげ」は×。

※「天皇の面影」ができていない場合は、要素Aの得点はできない。

※◇「天皇の面影」ができていれば【1点】。

※◇の一点が得点できている上に、「さえ」があれば、さらに【1点】。

「さえ」は「すら」でもよしとする。

※◇の一点が得点できている上に、「留まらなかった」があれば、さらに【1点】。

同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

※「天皇の面影さえも留まらなかった」(3点相当)の意がある場合に限り、天皇が「堀河天皇」などに誤っていても【1点】与える。

要素B【2点】雲のうへを ↓ この御所を、

※「この」の有無は不問。

※「御所」は「皇居・宮中」でもよい。

要素C【2点】玉のうてなとたれかいひけん ↓ 一体誰が皇居と言ったのだろうか、天皇のいない今はとてもそうとは思えない。

※◇「誰が御所と言うのか」の意があれば【1点】。

※「一体」や「天皇のいない今はとてもそうとは思えない」といった表現の有無は不問。

反語の結論は「天皇のいない寂しい皇居は皇居とは言えない」であるが、「誰も言わない・そんなことはない」等でもよしとする。

◇の表現ができていないのに、極端に違った結論となっている場合は、要素Cの合計からマイナス【1点】とする。

※◇の【1点】が得点できている上に、過去推量「たのだろう」があれば、さらに【1点】。

※「御所」は「皇居・宮中・美しく立派な御殿」でもよい。

問四 傍線部（ア）はどのようなことを言っているのか、説明しなさい。

基準 配点 7点

〔傍線部〕 げにとぞおぼゆる

〔模範解答〕 A2堀河天皇を失った後の悲しみや、B2主を失った内裏の寂しさを見たC3（自分にとって）彰子中宮の詠まれた歌の心情はよくわかるといふこと。

採点方法 各要素単独採点。

字数 指定なし。

解答形式 句読点の有無や位置については不問。説明として成立していれば語尾の表現はどのようであつてもよいこととする。

〔ポイント〕

要素A【2点】堀河天皇を失った後の悲しみや、

※「天皇を失った悲しみが分かる」という内容があればよい。天皇は一条天皇でも堀河天皇でもよしとする。

同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

※「分かる」の意がない「天皇が亡くなり悲しいこと」等は【1点】。

要素B【2点】主を失った内裏の寂しさを見た

※「天皇亡き後の内裏（御所・皇居・宮中）の寂しさが分かる」という内容があればよい。

同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

※「分かる」の意がない「天皇がいらない内裏は寂しいこと」等は【1点】。

要素C【3点】自分にとって、彰子中宮の詠まれた歌の心情はよくわかるということ。

※◇「彰子が歌に込めた心情が分かる・彰子の心情が分かる・彰子が詠んだと思う」といった内容があればよい。同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

※「分かる」の意がない「彰子の悲しい気持ち・彰子の寂しい心情」等は【1点】。

※◇の意はないが、「彰子の歌にしみじみする・彰子の歌に感じ入る」という内容がある場合は【1点】。

※「彰子・中宮彰子」が明らかでない場合、「中宮・宮」となっている場合は【0点】（要素Cでの得点なし）。

※「自分にとって」はなくてもよく、「作者・筆者・讃岐典侍・典侍」などとなつていてもよい。



問五(一) 傍線部(イ)について、「それ」の具体的な内容を補って現代語訳しなさい。

基準 配点 3点

〔傍線部〕 A2 それしもこそ、B1 こころざし見ゆれ。

〔模範解答〕 A2 讃岐典侍こそは、B1 誠意が見てとれる。

採点方法 各要素単独採点。

字数 指定なし。

解答形式 句読点の有無や位置については不問。

〔ポイント〕

要素A【2点】それしもこそ、 ↓ 讃岐典侍こそは、

※「讃岐典侍は・讃岐典侍には」でもよい。

※「讃岐典侍」は「典侍」でもよしとする。

※「作者・筆者・自分・私」などは【0点】(要素Aでの得点なし)。

要素B【1点】こころざし見ゆれ。 ↓ 誠意が見てとれる。

※「誠意」は「思いやり」などでもよい。これができていない場合は【0点】(要素Bでの得点なし)。

同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

※「見てとれる」は「見える・があるとと思われる・が感じられる」などでもよい。

同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

問五(2) 傍線部(イ)について、なぜそのように思うのか、説明しなさい。

基準 配点 7点

「傍線部」 それしもこそ、こころざし見ゆれ。

「模範解答」 A2堀河天皇が亡くなって、B2見映えもなく思い出すこともなさそうに見える堀河院に、C3讃岐典侍が忘れることなく姿を見せてくれるから。

採点方法 要素Cは単独採点可。要素A・Bは「条件」に従って下さい。  
字数 指定なし。

解答形式 句読点の有無や位置については不問。

「ポイント」

要素A【2点】堀河天皇が亡くなって、

※「条件」 Cが【0点】の場合は得点できない。ただし、誤字等の減点で【0点】になっている場合は得点できる。

※「堀河天皇の死後も」の意があれば【2点】。

※「堀河」が明らかでなく「天皇」となっている場合、天皇の名が違っている場合は【1点】。

要素B【2点】見映えもなく思い出すこともなさそうに見える堀河院に、

※「条件」 Cが【0点】の場合は得点できない。ただし、誤字等の減点で【0点】になっている場合は得点できる。

※「見映えのない場所に」の意があれば【1点】。

※「思い出すこともない場所に」の意があれば【1点】。

※「堀河院」の有無は不問。

要素C【3点】讃岐典侍が忘れることなく姿を見せてくれるから。

※◇「忘れずにいてくれるから」の意があれば【1点】。

※◎「姿を見せてくれる(訪れてくれる・来てくれる)から」の意があれば【1点】。

※◇か◎で【1点】(または両方で【2点】)を得点している上に、主体が「讃岐典侍(作者・筆者・典侍)」であることが明らかであれば、さらに【1点】。

問六 傍線部(ウ)は、作者のどのような様子を言っているのか、必要な言葉を補いながら、七〇字程度で説明しなさい。

基準 配点 8点

「傍線部和歌」 われもたへがたし。

「模範解答」 A・B中宮が、A3天皇の死を悲しんでいる作者の気持ちを理解してくれ、B3亡き天皇を悲しんでひどくお泣きになるのを聞いて、C2涙をこらえることができな様子。(69字)

採点方法 要素Cは単独採点可。要素A・Bは「条件」に従って下さい。

字数 七〇字程度。解答欄のマス目以上(八十一字以上)は一字多いごとに、全体(各要素の合計点)から2点ずつ減点する(句読点を含む)。

解答形式 句読点の有無や位置については不問。説明として成立していれば語尾の表現はどのようであってよいこととする。

「ポイント」

要素A【3点】中宮が、天皇の死を悲しんでいる作者の気持ちを理解してくれ、

※「条件」 Cが【0点】の場合は得点できない。ただし、誤字等の減点で【0点】になっている場合は得点できる。

※「中宮(宮・篤子)」が、作者(筆者・讃岐典侍・典侍)の気持ちを理解してくれて」の意が読み取れれば【2点】。  
「中宮(宮・篤子)」が明らかでない場合は×。

※右の【2点】が得点できている上に、その「気持ち」が「天皇の死に対する悲しみ」であることが読み取れれば、さらに【1点】。

※「典侍を宰相からかばい」という内容の有無は不問。

要素B【3点】中宮が、亡き天皇を悲しんでひどくお泣きになるのを聞いて、

※「条件」 Cが【0点】の場合は得点できない。ただし、誤字等の減点で【0点】になっている場合は得点できる。

※◇「中宮(宮・篤子)」が、悲しんでいるので(を見て)「の意が読み取れば【1点】」。

「中宮(宮・篤子)」が明らかでない場合は×。

※◎「中宮(宮・篤子)」が、泣いているので(を聞いて・を見て)「の意が読み取れば【1点】」。

「中宮(宮・篤子)」が明らかでない場合は×。

※◇か◎で【1点】(または両方で【2点】)を得点している上に、悲しみの対象が「天皇の死」であることが解答全体から読み取れば、さらに【1点】。

要素C【2点】涙をこらえることができない様子。

※「泣くのをこらえきれない様子」などでもよい。

※「泣く」の意がなく、「悲しむ様子・つらく思う様子・いたたまれない様子・寂しい気持ち・同情する様子・胸を痛める様子」等がある場合は【1点】。

※「ありがたく思う」という内容の有無は不問。